

金沢市地域コミュニティ活性化推進計画 2023 骨子（案）のパブリックコメントにおけるご意見と金沢市の考え方について

- 1 意見募集期間 令和4年12月5日（月）～令和5年1月4日（水）
 2 募集方法 メール、郵便、ファクシミリまたは窓口へ持参
 3 意見数 10件（意見者数3人）

No.	ご意見の概要	金沢市の考え方
1	<p>金沢市地域コミュニティ活性化推進計画 2023（仮称）骨子案には、「問題」（ネガティブな内容）の記載が多く見受けられます。</p> <p>そのため</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 計画からネガティブな印象を受けました。 2) 計画が、弱みを強みに変容する改善戦略に觀えます。 <p>つまり「弱みで勝負します」という主旨の計画に觀えます。</p> <p>私からの意見は、「強みを活かす積極戦略や差別化戦略」にして欲しい（または含めて欲しい。）という点です。</p> <p>具体的には、</p> <p>「2 地域コミュニティの現状と課題」の欄に「強み」「活用できる資源」「特徴」（ポジティブな内容）を記載してもらいたいです。</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の協力が得られている。 ・活動のスマート化への要望が高まっている。 （問題ではなく、機会と捉える。） ・学生（若者）が集う学生都市であること ・歴史文化のある観光都市であること など 	<p>骨子案に記載のとおり、少子高齢化の進展やライフスタイルの変化など、地域コミュニティを取り巻く環境は非常に厳しいものであり、地域コミュニティを持続的に活性化させていくためには、これらの課題への対応は避けて通れないものであると考えています。</p> <p>一方で、これまで歴史や文化、風土により育まれてきた金沢独自の地域コミュニティなど、強みを生かした施策についても、ご意見の趣旨を踏まえ、取り組んでいきたいと考えています。</p>
2	「地域コミュニティ」「コミュニティ」「地域」「自治会」「町会」「地域団体」「組織」「住民」「主体」は用語を使い分けていると存じますが、混同し易いと存じます。	用語について、適切に記載したいと考えています。

3	<p>計画のうち基本計画3には、ぜひジェンダー平等についての具体的な記載をお願いしたいと思います。</p> <p>公民館館長や町内会長などの役職はほぼ高齢の男性によって占められています。中には押しつけられている、やりたいわけじゃないがやる人がいないからやっている、というような方もいらっしゃるようですが、この状況はグローバルな視点から、あるいは大都市圏から見ても異常な状況です。一方で、公民館主事など実務を担うのは女性が多く（中には男性もいらっしゃいますが）、主事には運営上の決定権があまりありません。このような構図を変えないと、長期的には若者も女性も参加することに全く魅力を感じません。</p> <p>本気で女性に町長を「押し付ける」施策が必要です。押しつけられてイヤイヤやる男性がいるのであれば、押しつけられてやる女性がいてもよいのではないかでしょうか。公民館館長と町長にぜひ女性の数値目標、あるいはクオータ制を設けて、本気で女性が社会の意思決定に加わることを推進してほしいです。</p> <p>ユネスコ創造都市として国際ネットワークをリードする金沢としては、多様性の面においても世界をリードしているまちであってほしいです。</p>	<p>コミュニティ活動の活性化には、若者や女性など、これまで活動への参加が少ないとされていた多様な住民の参加が必要不可欠と考えていることから、ご意見の趣旨を踏まえ、女性を含めた多様な住民の地域コミュニティへの参画の促進や人材育成等に取り組んでいきたいと考えています。</p>
4	<p>女性町長が少ないために住民の多様な意見が反映されにくいことも、町会の活力不足や町会の活動への参加が少ない一因となっているのではないでしょうか。「金沢市男女共同参画推進行動計画（改定版）」では、町長の女性比率を2015年の2.7%から2022年度末には10%を目指に掲げていますが、内閣府男女共同参画局作成の「市区町村女性参画状況見える化マップ」による2021年度の金沢市は4.4%にすぎず、全国の市区平均6.9%をも大きく下回っています。</p> <p>https://www.a.ao.go.jp/shichoson_map/?data=6&year=2021&todofuken=17</p> <p>地域コミュニティの「新たな担い手の発掘・育成への支援」・「多様な住民の活動参加の促進」のためにも、性別にかかわらず、適任と思われる人が町長等になれるような意識形成を働きかける必要があります。そのために、金沢市が作成の「町長は女？男？」のチラシはよい施策ですが、周知されていないのが残念です。毎年、町会役員の任期末・交代の多い時期（年末あるいは年度末）の前に、</p>	<p>町長アンケート結果における町会役員の女性割合については、計画本編に掲載することとしています。</p> <p>コミュニティ活動の活性化には、若者や女性など、これまで活動への参加が少ないとされていた多様な住民の参加が必要不可欠と考えていることから、ご意見の趣旨を踏まえ、女性を含めた多様な住民の地域コミュニティへの参画の促進や人材育成等に取り組んでいきたいと考えています。</p>

	<p>各連合町会長から現町会長に配布して次期役員選出の参考にしてもらうよう呼びかけるなどの積極の方策が必要です。男女共同参画や「金沢市男女共同参画推進行動計画」とも整合的な計画となるよう、男女共同参画の視点からの現状と課題も含めて、こうした統計数値を計画に示し、将来像を描くべきです。</p>	
5	<p>私が直接知る限りでも、金沢市で次のようなことがありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地区町会連合会・地区防災連合会」封筒にメールアドレスの記載がなく（防災対策上も課題）、今年度に指摘してようやく改善されました。 ・ある地区社会福祉協議会では、書面付議の評決結果がたびたび督促しても示されず、上位組織である金沢市社会福祉協議会に訴えて、半年後によく受け取ることができました。 ・市内のある賃貸マンションでは、町会費を払っているにもかかわらず、町会・連合町会等からの案内が掲示もされず、回覧もなく、配布物もほとんど届きませんでした（そこではそのマンションの大家さんが町会の班長をずっと歴任）。 ・「町会推薦役員名簿」などで、不要と思われる個人情報の収集が慣例だからと漫然となされています。 <p>(例) ある町会連合会 性別欄は全員に、”防犯委員（地域安全委員兼務）3名は職業欄あり (例) ある地区社会福祉協議会での敬老会参加・記念品申込書には、性別と生年月日の欄がありました。記念品は男女共通であり性別欄は不要。生年月日のうち月日については、該当基準日の9月15日以前か以後がわかれば5歳ごとに記念品授与の対象者を判断できるので、その2択で十分です。課題を指摘し改善を要望しました。 (注) LGBTQ+特にトランスジェンダーの人権とプライバシー保護の観点から、金沢市を含む多くの自治体や省庁で、不要な性別欄の削除が進められています。 こうしたことでは、若い人や新しい来住者が町会への加入や活動参加、役員就</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、新たな担い手の発掘・育成の支援や、組織運営の効率化の促進、また、町会その他の地域団体、NPO等の市民活動団体、事業者、学生、行政など、地域コミュニティを支える多様な主体による人材の育成などの支援を行っていく中で、検討していくたいと考えています。</p>

	<p>任に消極的・否定的になったとしても無理はありません。「地域コミュニティに対する理解や連帶意識の高揚の促進」を訴えても、具体的な問題解決がなされなければ、効果は上がりません。</p> <p>持続可能性向上や活性化のためには、コミュニティ組織の中心的な人々が組織ガバナンス（運営スキル）を学び向上・アップデートさせる機会・制度が必要です。</p> <p>「金沢ボランティア大学校」では、「令和4年度（第29期）学習計画」をみるとかぎり、地域コミュニティ組織（あるいは広くNPO）のガバナンスを中心に扱う科目は開講されていませんが、開設が必要ではないでしょうか。</p>	
6	<p>今日、引きこもりや孤独孤立の対策が急務とされ、そのために居場所づくりが大きな課題となっています。市内でも、さまざまなNPOが居場所づくりを行い、子ども食堂も増えています。</p> <p>地域の居場所づくりでは、行政は高齢者、子ども、など年齢層別の施策に視点が行きがちですが、市の広域での、さまざまなマイノリティ属性を持つ人（ひとり親、障がいを持つ人、外国にルーツを持つ人、LGBTQ+、など）の居場所づくりや、こうした活動との連携も合せて必要です。ともすれば縦割りになりがちですが、こうした支援活動を行っている地域の団体への支援も、この「地域コミュニティ活性化推進計画」において、町内会と同様に重視して施策を行っていくべきです。</p>	<p>市内で広域的に活動する市民団体等に対する支援については、基本的には当計画の上位計画である「金沢市協働推進計画」にて対応するものと考えています。</p> <p>当計画は、「金沢市協働推進計画」の地域コミュニティにおける分野別計画として、地域コミュニティの活性化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために策定することから、当計画では、町会その他の地域団体、NPO等の市民活動団体、事業者、学生、行政など、地域コミュニティを支える多様な主体間の連携促進について取り組んでいきたいと考えています。</p>
7	<p>「2 地域コミュニティの現状と課題」</p> <p>「社会情勢の変化」</p> <p>単に人口減少や高齢化だけでなく、「1人暮らし世帯（単身世帯）の割合の増加が、地域コミュニティの活動やニーズに大きく影響しています。「単身世帯の増加」は「① 策定の背景と目的」でも述べられています。後の基本方針や施策の前提となる基本情報として、2020年国勢調査のデータ（あるいは住民基本台帳によるデータ）に基づき、金沢市における、単身世帯やその割合増加についても、数字で示すべきです。</p>	<p>単身世帯の増加などのライフスタイルの変化が、地域コミュニティに関わる機会や時間の減少に影響している可能性があることから、単身世帯数などのデータを計画本編に掲載することとしています。</p>

8	<p>「3 めざす姿と基本方針」</p> <p>【めざす姿】 「自らの地域に誇りと愛着を持ち」を削除するか、それが難しければせめて「自らの地域に誇りと愛着を感じことができ」に修正すべきです。 (理由・説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自らの地域に誇りと愛着を持つこと」は、その人と地域との相互作用のひとつの結果であって それ自体は目指すべき目標としてふさわしくありません。 ・「自らの地域に誇りと愛着を持ち」という表現では、誇りと愛着を持つよう金沢市が市民に圧力をかけているようにも読めてしまいます。 ・地域コミュニティは宗教団体ではないのですから、住む地域に対しさまざまな思いや考えを持ち、またそれを表現する自由は当然保障されているはずです。 ・特に、地域や地元の学校・職場で、マイノリティの属性を持つなどのため、周囲から疎外されたりいじめや差別・村八分を受けたりなどの経験のある人に対して、「地域に誇りと愛着を持つ」ことは困難であり、また苦痛を強いることにもなってしまいます。 ・そもそも、本計画のベースである「金沢市地域コミュニティ活性化推進条例(略称)」では、「地域に誇りと愛着を持つ」ことを求めていません。 	ご意見の趣旨を踏まえ、参考にさせていただきます。
9	<p>「4 基本方針に基づく施策の方向性」</p> <p>「組織運営の効率化と負担軽減」</p> <p>地域の人口減少や担い手不足への1つの対処法として、町内会の統合再編についても、ガイドラインで留意点を示すなど、適切な助言が求められます。</p> <p>「デジタルを活用した活動の促進」</p> <p>公民館や児童館など地域コミュニティ拠点へのWi-Fi設置の整備支援も望されます。</p>	ご意見の趣旨を踏まえ、参考にさせていただきます。

10	<p>計画表紙について</p> <p>(1) 対象年度について</p> <p>広く活用されやすいよう、表紙に計画の対象年度（2023～2027 年度）を明記してください。</p> <p>(2) 計画表紙のイラストについて</p> <p>「金沢市地域コミュニティ活性化推進計画 2018」の表紙は、13 人すべてが同じ肌の色で、また海外一にルーツを持つと思われる人はいませんでした。金沢市は 5,000 人を超える在住外国籍の住民があり、人口の約 1.1%にのぼります。新計画では、ダイバーシティを尊重・反映し、また「世界の交流拠点都市金沢」にふさわしいイラストに改善してください。</p> <p>(参考)</p> <p>石川県国際交流課「令和 3 年度外国人住民数集計結果について」</p> <p>https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kisya/r3/documents/0216kokusaiikouryu.pdf</p>	ご意見の趣旨を踏まえ、参考にさせていただきます。
----	--	--------------------------